



大好き かたびら

横浜市立帷子小学校
学校だよりNo.7 11月号
平成30年10月31日
横浜市保土ケ谷区
川辺町65-1
TEL045-335-5896

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/katabira>

○児童支援専任の仕事

児童支援専任 篠田 昌二

今年度、本校児童支援専任になりました篠田昌二です。

児童支援専任は、全校児童の一人ひとりが安心して自分らしく学校生活を送ることができるように、そのときどきに応じた学校の課題を職員全体で共有し、統一して指導や支援を行っていきけるようにするのが主な役割です。

また学校や児童を支えてくださる地域の皆様や関係機関との連絡や調整も行います。

児童や保護者との教育相談の窓口にもなっておりますので、些細なことでも、気になることがあれば、是非お声かけください。

児童支援専任の仕事でとても大切だと感じているのが、朝の通学路回りです。

・登校時間

・あいさつの仕方

・一緒に歩いている相手

・道具の持ち方

・・・習慣化されている毎朝の行動だからこそ個性が出るのかもしれませんが。このような中から児童の変化に気付いていける感度を磨いていかねばと思う日々です。

同様に教室回りもとても大切な仕事です。児童一人ひとりがクラスに居場所を確保できているか、自分の言いたいことを伝えることができているか、1日3回は全クラス回ることを自分へのノルマにしています。

さて、この教室回りの際に特に気を付けていることが3つあります。

1. 掲示物が外れていないか

2. 水道の蛇口が下を向いているか

3. 担任の先生が元気か

1. については、ゆとりがあるかどうかのバロメーターになるかとも思います。掲示物が外れていても、児童自ら気付いて直すことが当たり前の学校で常にありたいものです。

2. については、二つの見方があります。一つ目は身体を清潔にしたり、身体に一番必要な水を摂取したりする場所だからこそ、尚更大切に扱ってほしいということです。もう一つは、次に使う人のことを考えて、ということです。思いやりの気持ちはこういうところにも表れるのではないのでしょうか。

3. については、児童にとって一年間で一番話を聞く相手が担任の先生です。担任の先生が一人ひとりに目を配り、元気に児童と接している姿を見ると、何か問題が起きたとしても全力で向き合い、クラス全員で解決していくことができることなのでしょう。また、児童は真似することがとても得意です。元気な担任が児童の鏡となることなのでしょう。

気が付けば、上着を羽織るような季節になってきました。児童の朝の様子も、またこれまでと違う面が見られるようになってきました。秋の空のように、一人ひとりの児童が爽やかな笑顔で学校生活を送れるように支援していきます。

